

統一地方選挙を社会 保障拡充の契機に

小澤力理事(協会政策部長)が談話



私たちに関係の深い統一地方選挙が、8日(日)投票で実施される。構造「改革」による庶民増税、医療の窓口負担や保険料負担増、国保の短期証・資格書の乱発など、生活・医療格差が広がり、患者さんは歯科を受診できなくなっている。社会問題化する格差を解消できる社会保障の拡充が、今選挙の最も重要な争点となる。

市長選挙は、直接、私たちの要求を実現する大きな力になる。東大阪・八尾・柏原地区では、昨年7月の東大阪市長選挙で現市長の長尾淳三氏と「大型公共事業や同和予算を削り、医療福祉を拡充」する政策協定を結んだ。長尾氏は当選後、介護保険料の減免制度を拡充した。今年度予算では、24億円の下水道庁舎建設を見送り、同和事業費を1億9千万円と削減、国保料の引き下げのため一般会計からの繰り入れを6億7千万円増やした。今選挙では、岩根良氏(吹田市)、永井きみ子氏(八尾市)の推薦を決め、乳幼児医療費助成の対象年齢拡大をはじめ

開いた街づくり、閑空二期工事など、大型公共事業の無駄遣いに執着している。大企業誘致の補助金も一社30億円から150億円と5倍化(07年度予算)し、全国トップである。

こうした政治を住民の命と暮らしを優先する運営に切り替えるには、議会の力関係を変える必要がある。

協会は、府議選や市町村議選について「会員の思想信条の自由を保障する立場」から候補者の推薦などは一切行っていない。しかし、社会保障や医療費助成の拡充に賛同する議員を増やすことは大切である。先生方の懸念な判断をお願いする。

増加しているこのこと。また日本国内では05年における3歳児のノンカリエスである者の割合が、東京では73%に対して沖縄では47%にとどまっているとの地域格差が認められる。たまたまた地域差があるものの、10年につ蝕の無い3歳児の割合を80%以上、及び

3月度生涯研 世界と日本の予防歯科 初期う蝕の早期発見技術の確立急務

協会の歯科臨床学会部は、大阪歯科大学口腔衛



予防歯科について、分かりやすく話す神原氏。3月18日、M&Dホ

生学講座・神原正樹教授を講師に「世界の予防歯科・日本の予防歯科」と題して生涯研修講座を3月18日、M&Dホールで開催した。歯科医師ら40人が参加した。

歯科疾患、その中でも主としてう蝕症について世界と日本の現状について資料を交え解説された。その中で先進国における傾向として子供

のう蝕の減少が見られる中で清涼飲料水等が原因と思われる酸蝕症

1、あの当時から医者は抱持して聴診器らしい物持ってたやろ。ほんで歯医者は、歯を抜くヤツトコ」

大将「それ映画の話でしょ？」

ヒ歯「いや、あの時代は痛い歯は抜く。病気がうつたら結核やから。まああのころから別々のみちをあのんでたんやな」

大将「ほんまでっか？」

ヒ歯「今思いついただけや。ほんでな、日本で医者と歯医者が別々の登録制になったのは明治16年、OK牧場の決闘は1881年、だいたい同じ頃やねんけどな」

大将「ほんで、なんで融合ですか？」

12歳児の1人平均う蝕数1本以下という健康日本21の目標はほぼ達成されると予想されている。

今後は、近い将来のう蝕のほとんど無い人々に対してどの様な歯科医療を行うかというところを考える必要がある。そこで重要とされるのは初期う蝕に対する考え方であり、可逆的う蝕を早期に発見する技術の確立が急がれる。従来早期に発見

されたC0をC1に移行させずに健全歯に戻すフッ素塗布等は予防の延長と考えられていた。しかし重篤なう蝕が減少して行く中で治療としての位置づけを確立することが求められている。

教授の講演は簡潔で分かりやすく、又今後の歯科医療を口腔内から考えるとても良い機会になった。

(住吉区・早田寿夫)

療会 日常診療交流 経を



森 啓
協会理事・日常診療経験交流会 実行委員

イカと鹿?!?

ある日、コテコテの大坂、とあるうごん屋での会話。

主人「毎度、おー大将ひさしぶり。どう行ってましたか？」

大将「医者への帰り、ちょっとハラ減ったさかい、ウドンでもすすって帰ろかとおもて」

大将「その医者、おもしろいチラシ読んでたさか

い、もってきた」

主人「なんでんねん、そのイカと鹿で？」

大将「なんでも、医者や歯医者のことらしいで」

主人「また、アホみたいなコピコ考えまんなあ」

大将「何で今更、イカとタコ、違つ違つ、鹿。」

主人「それを言つたら、医科と歯科！」

大将「何で今更、融合てなあ？」

主人「もうすぐ昼時やから、ヒマな歯医者がウドン喰いにきよる、聞いてみよ」

……

ヒマな歯医者(以下ヒ歯)

「お、めずらしい、客がおるな!」

主人「うん、さあ!お前に

盗

ヒ歯「なんかけんあるな

合ですか？」

「日常診療経験交流会」への皆さんの参加お待ちしております。

「日常診療経験交流会」への皆さんの参加お待ちしております。

診療報酬改定 ガイドライン総見直し Pや補綴で

診療報酬改定に絡み日本歯科医学会は学術的根拠に基づく社会保険医療の在り方を提言し、診療報酬の適正化を促進することを目的に、「歯周病の診断と治療のガイドライン」と「有床義歯の調整・指導及びブリッジの適応症と設計並びにリベースのガイドライン」の改定を検討部会で進めている。

一方、日本歯科医師会も臨床の立場から歯科診療ガイドラインのあり方に対する基本的考え方をとりまとめる。このガイドライン見直しを、08年度改定に際しての現時点での問題点の改善のためのエビデンスとして活用することを目標とする。

日歯のガイドライン設定の基本的考え方は、①総合的視点に立った歯科医療を考え、専門分野に偏らない②患者の意志と歯科医師の裁量を重視する③患者の心身の機能、生活環境をふまえて全人的に診療する④患者の

個々の状況に応じた臨床として、ガイドラインからガイドゾーンへの幅と奥行きをもたせる⑤ガイドラインは固定的でなく、歯科医学の進歩と社会状況の変化に即して変更する——としている。

日歯はガイドライン見直し結果を08年改定に活用することを目指している。歯科医学会は「歯科分野における診療ガイドライン構築に関する総合的研究」をとりまとめたうえで、08年度に「診療ガイドライン」作成を学会主導で開始し、10年改定を展望している。

日歯と厚労省、学会のガイドライン見直しをめぐるスケジュールが微妙に食い違っている。ガイドラインがつまみ食いさる08年改定の「エビデンス」とされないよう、検討中のガイドラインの公表と臨床家を含めた十分な議論が求められる。

求人

ハーモニックにおまかせ下さい

歯科医師
衛生士
助手
技工士

優秀な人材をご紹介します

常勤、アルバイト、パートに関わらず人材採用のお手伝いをさせていただきます。弊社にて事前に面接済の求職者の中からご希望の条件と合う方を探し、ご紹介致します。

ホームページ <http://harmonic-net.co.jp/index.html>

24時間受付

お気軽にお電話下さい

株式会社 ハーモニック

(和田精密グループ)

フリーコール 1-11-11-510
TEL 0800-1114510
FAX 06-6393-3232

e-mail: osigoto@teeth.co.jp

担当: 下田

532-0002 大阪市淀川区東三国1丁目12-15 辻本ビル7F

有料職業紹介業 27-ユ-300406
一般労働者派遣業 般-27-06-0054